

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	家庭教育支援事業			事業コード	1489
担当課等	所属名	教育委員会 生涯学習課	担当係名		
	課長名	大倉 慎澄	担当者名	大庭 治彦	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築	コード 2
	基本事業	社会教育の充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 10款 6項 1目 社会教育促進事業(024-01) 一般会計 10款 6項 1目 少年教育促進事業(025-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	家庭教育に関する啓発のための講演会の実施					
根拠法令等	教育基本法 社会教育法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>家庭や地域の教育力の低下に対応するため、平成16年度から20年度まで国庫委託事業を受託し「父親の家庭教育を考えるつどい」等を開催し、家庭教育の重要性を啓発した。また、平成12年度から20年度まで文部科学省が作成した家庭教育手帳を小中学生を持つ保護者に配布した。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>平成21年5月の教育振興推進委員会常任委員会や6月の社会教育委員会議で家庭教育支援の充実についての意見が出された。また、平成23年3月議会では、親に関する資質向上の機会について、学校、家庭、地域の連携について質問が出されている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
<p>改正教育基本法第10条において、保護者は子の教育に第一義的な責任を有するものと定義され、地方公共団体は保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めることと規定された。また、平成20年7月の教育振興基本計画には、家庭の教育力の向上とその支援に関する事項が盛り込まれ、家庭教育に対するより一層の取組が期待されている。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを持つ親 家庭教育に関心を有する盛岡市民 	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市の人口 B. 市の世帯数 C.	単位 人 単位 世帯 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 1 読書講演会の開催 2 家庭教育に関する情報提供 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 子どもの読書推進事業	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 家庭教育に関する情報提供数 B. C.	単位 件 単位 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生きる力を向上させるという家庭本来の役割を、親に改めて認識してもらう。 体験活動や地域住民との交流活動を通じて、心豊かでたくましい子どもを育む地域の教育力を高める。 	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 講演会への参加者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】 B. 意識調査(講演会に対する満足度、理解度) 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 人 単位 % 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	多様で良質な学習機会が提供され、市民が参加できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市の講座数(単位:講座) 講座受講者数(単位:人)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市の人口	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	26年度 298,148
対象 指標B	市の世帯数	世帯	124,563	125,590	125,590	125,149	125,149	125,149	26年度 125,149
対象 指標C									年度
活動 指標A	家庭教育に関する情報提供数	件	15,800	28	30	21	30	30	26年度 30
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	講演会への参加者数	人	700	132	500	600	600	600	26年度 600
成果 指標B	意識調査(講演会に対する満足度、理解度)	%	96	100	100	98	100	100	26年度 100
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,856	193	245	125	89	89	*****
財源 内訳	④国	千円	1,856	193					*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	245	125	89	89	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,856	193	245	125	89	89	*****
延べ業務時間数		時間	1,500	1,550	1,550	1,460	1,460	1,460	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	6,000	6,200	6,200	5,840	5,840	5,840	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,856	6,393	6,445	5,965	5,929	5,929	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 家庭教育の充実を図ることは社会教育の充実に寄与するため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 教育基本法や社会教育法に地方公共団体の任務として規定されている。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 全ての家庭を対象としている。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象及び事業のねらいを絞っているため、現状が妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 主催事業だけでなく、関係団体などが行う事業の周知等も積極的に行うことで、成果が向上する余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 教育の基本は家庭教育であり、家庭の教育力の低下は次代を担う子どもたちに与える影響が大きい。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 講演会, 市民講座, 家庭教育講演会 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 事業周知など連携を図ることで、更に効果的な事業展開が期待できる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在の事業費は最低限であり、今以上に削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在の人件費は最低限であり、今以上に削減できない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 対象者全てに受益の機会があり、公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 行政課題として市が取り組んでいるもので、費用負担を求める余地はない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 事業周知や情報提供に当たっては、町内会・自治会などの地域の組織や学校、NPO法人などと連携してより効果的な事業展開を図る。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 平成22年度から国庫補助の導入ができず、講演会等の実施に当たり関係機関との連携や講師選定に工夫をした。関係機関との一層の事業連携により、効率的な事業展開に努める必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>平成22年度は国民読書年であったことから、読書に関する意識啓発を図るための講演会を開催し、好評であった。今後も、家庭教育の課題に対応した学習機会を提供していく必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業費が乏しい中ではあるが、毎年度、課題に対応した事業を適切に実施している。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								